



鈴木 央 議員

大田原市火葬場について

質問 大田原市火葬場の建て替えについて伺います。

答弁(市民生活部長) 那須地区広域行政事務組合の生活環境部会が、「那須圏域の火葬場事業広域化に関する調査研究報告書」をまとめ、その中で火葬場の建設については、現行施設の将来需要への対応能力及び各施設の課題について研究した結果、将来の火葬件数の増加への対応は可能ですが、住民サービスの質が低下し、今後のニーズに対応できなくなることが

予想されています。そのため、今後那須圏域の火葬場の施設の老朽化診断を行い、新火葬場建設の時期を厳密に判断する必要がある、火葬場の数や建設候補地の条件等、那須地区の火葬場事業の将来像について検討し、構成市町の新火葬場建設事業への参画の意思を確認した上で、広域化についての合意があれば、那須地区広域行政事務組合を事業実施主体とするための諸手続きに入るとしています。以上の結果を受け、本市では、今年度



大田原火葬場

中に老朽化診断のための耐震調査を実施することとしました。



高野 礼子 議員

農業行政について

質問 耕作放棄地の現況について伺います。

答弁(市長) 我が国では、農業者の高齢化や担い手の減少による耕作放棄地の増加が懸念され、解消に向けた取り組みが急務となっています。本市では、平成 26 年度末時点で 17.8 ヘクタールの耕作放棄地が存在し、中でも那珂川の東部地域でこの傾向が著しく、特に両郷・須賀川地区では市内に有する耕作放棄地の約半分の面積を占める状況となっています。本市では、

農業委員会による農地パトロール等を毎年定期的に実施し、耕作放棄地の所有者に対する指導や必要に応じて勧告等を行うとともに、農業公社と連携して、農地を集積できそうな新たな耕作者を紹介するなど、耕作放棄地の減少に向けた取り組みを実施しています。特に、中山間地域においては、国の中山間地域等直接支払制度の積極的な活用を推進することで、農業生産条件の不利な中山間地域における耕作放棄地の発生



管理が行き届いていない田んぼ

防止に努めています。